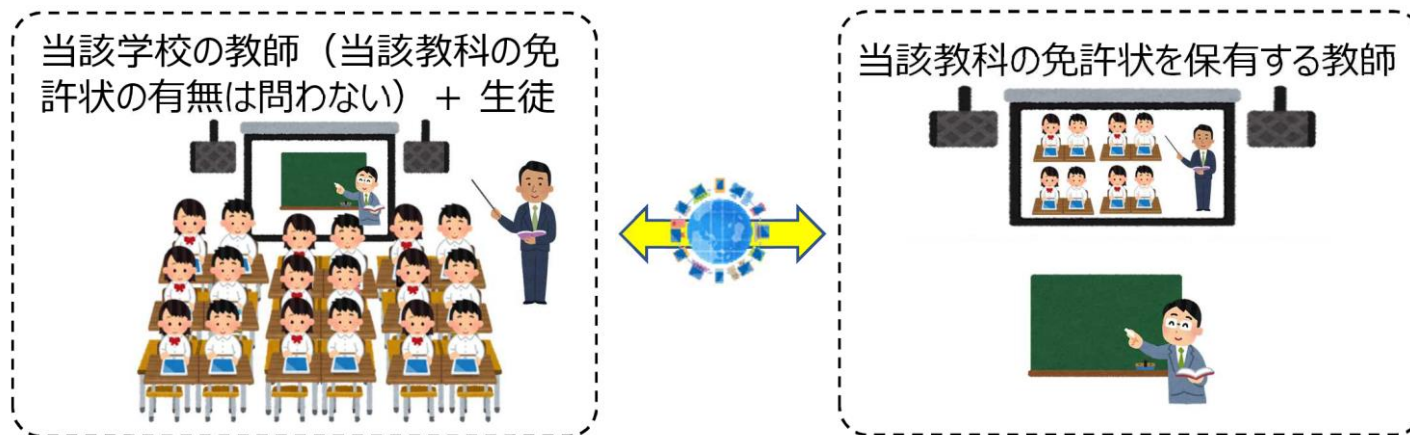


- 受信側に**当該教科の免許状を持った教員**がいなくても、**授業実施が可能**。



※「遠隔教育の推進に向けた施策方針」のポイントより抜粋

教科・科目充実型の遠隔授業を行う際の**主な留意点**

生徒数	<ul style="list-style-type: none"> 同時に授業を受ける生徒数は、40人以下
配信側教員	<ul style="list-style-type: none"> 当該教科の免許状が必要 受信側高校の身分が必要（兼務発令等で対応）
受信側	<ul style="list-style-type: none"> 受信側にも教員配置が必要（当該免許状の有無は問わない） （ただし、病気療養中の生徒に対して行う場合には、教員配置は必ずしも要しない（病室等での適切な体制整備が必要））
学習評価	<ul style="list-style-type: none"> 評価は配信側教員が行う。（受信側教員は協力）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 36単位を上限とする（科目ごとに、一部、対面授業が必要）

※学校教育法施行規則の一部を改正する省令等の施行について(通知)(平成27年文科初第289号)等を基に整理

北海道有朋高等学校の事例

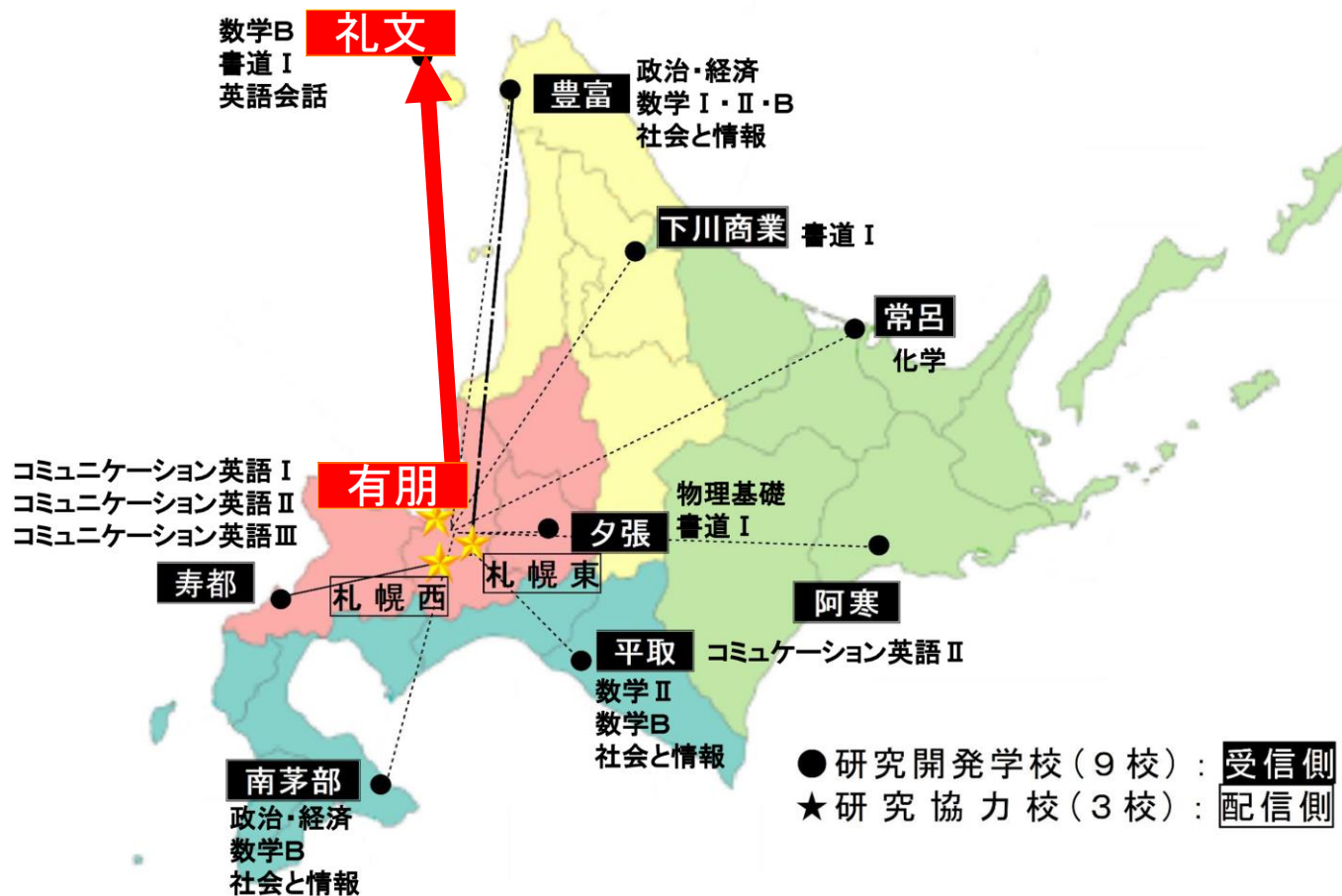
H29-R2年度 遠隔教育に係る研究開発学校
 H30-R元年度 高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業

有朋高等学校含め3校を配信校として、道内9校に対して**22科目を配信**
 各科目とも、ほぼ**100%を遠隔授業**で実施

受信側



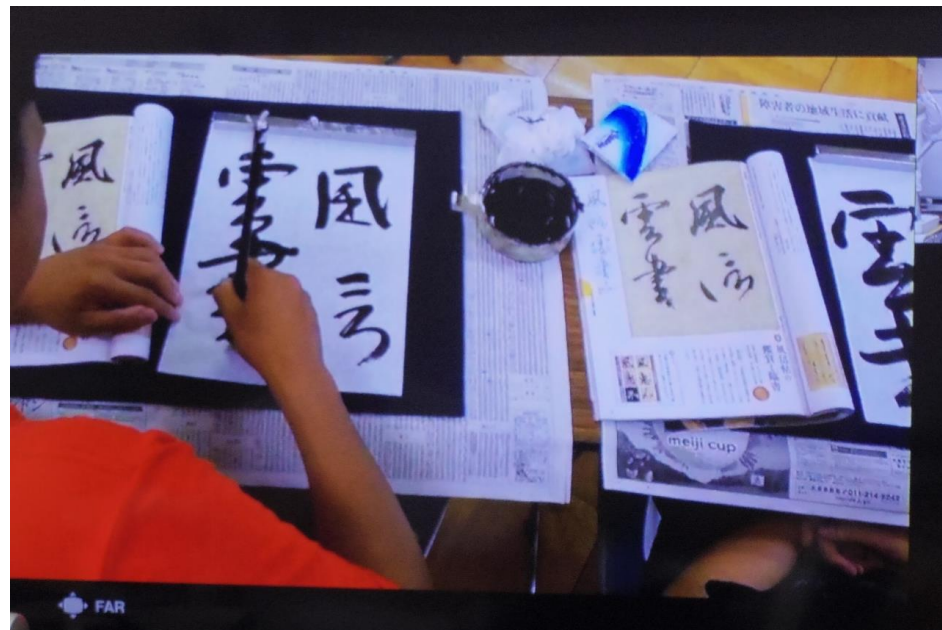
配信側



北海道有朋高等学校 - 礼文高等学校/書道 I



教員が書いた手本は、**実物投影機**で受信校にも共有



受信校の教員が**ハンディカム**を持ちながら、**机間指導**にあたる。



配信校から**受信校のカメラ**を操作し、作品を評価。アドバイスをを行う。